

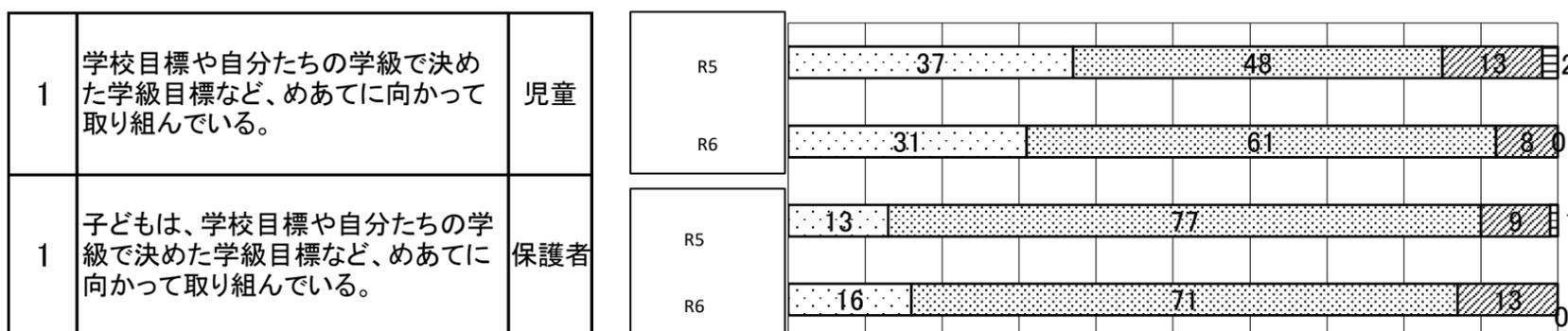
保護者の皆様

竜王小学校
校長 山本 照代

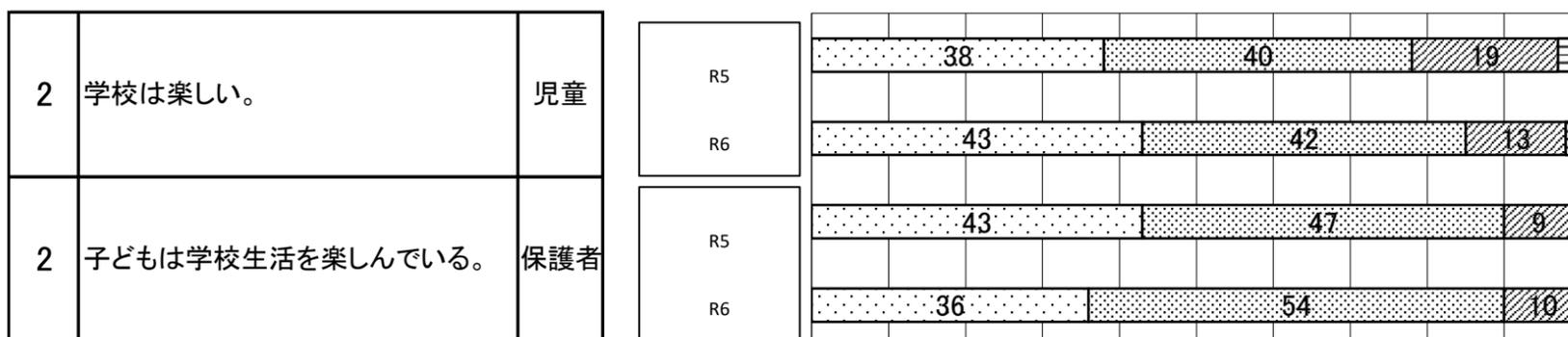
令和6年度 学校評価のご報告について

向春の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は、本校教育に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、昨年12月に3～6年生の児童、全保護者の皆様を対象に「学校評価アンケート」を実施させていただきました。その結果についてまとめましたので、お知らせします。
保護者アンケートの回収率は、約70%でした。多くの保護者の皆様にご協力をいただき、大変ありがとうございました。
全体的な傾向として、児童、保護者様とも多くの項目で肯定的な回答がほぼ8割以上の評価を頂きました。
しかし、個々の項目を見ていきますと、肯定的な評価が昨年度より下がっている項目や8割に満たない項目もありました。
こうした結果を様々な角度から分析、検討することで、来年度の学校改善につなげ、子どもたちの健やかな成長につなげていけるよう全力を尽くしたいと考えています。
保護者の皆様におかれましては、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

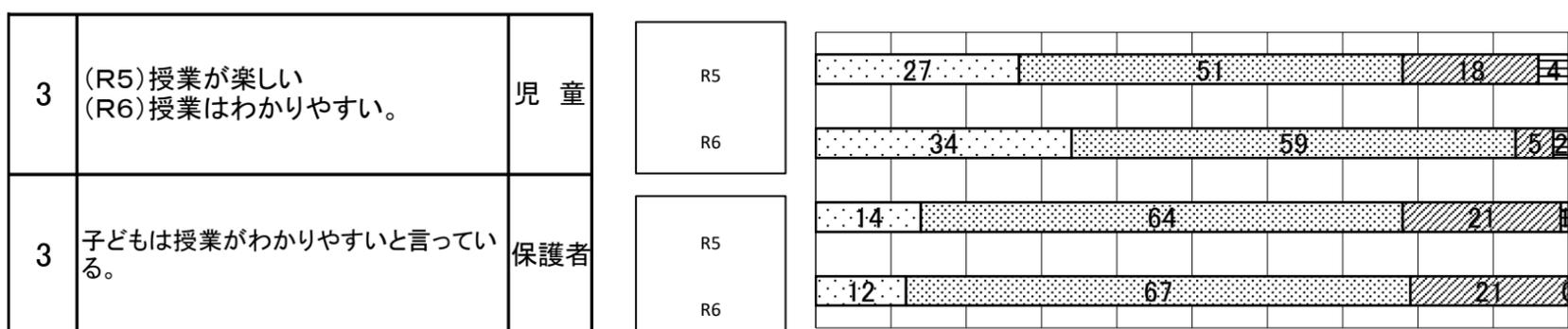
※グラフ内の数値は%
左から順に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」



児童の肯定的な評価の割合が増えています。今年も「かんがえよう・たすけあおう・やってみよう」を合言葉として、学校目標の実現に向けて様々な取組を進めてきました。日々の学習に子どもたちが楽しみながらも目標を持つことでより一生懸命に取り組む姿が見られました。子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいると評価しているので、その頑張っている様子をもっと家庭に発信していくことを心がけていきたいと思えます。また、各学級でも子どもたちに「何がしたいのか」という声かけや頑張りを振り返る時間を取り、めあてに向かって取り組んできた自覚を持たせたいと考えます。

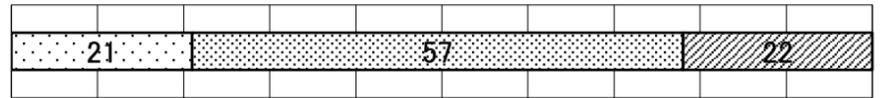
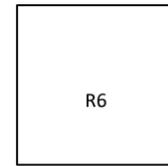
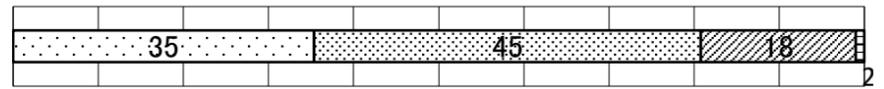
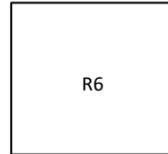


児童の肯定的な評価が高くなった項目でした。「認めあい・高めあう集団づくり」に向け取組を進めてきた成果と考え嬉しく思います。また、次の問いの結果にもあるように、授業内容を理解しているという回答が増えたことも学校が楽しいということにつながっていると考えています。今後も、肯定的でない評価の児童がいることをしっかりと受け止めて、「学校って楽しい。」とすべての児童が感じられる学校をめざし、授業づくり、仲間づくり、心を育てる道徳教育を進めます。子どもたちの様子をしっかりと見守り、どんな些細なことにも注意を払いながら、どの子も楽しく学校生活を送れるよう授業や行事を通して学級集団づくりについて力を入れて参ります。



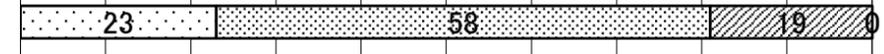
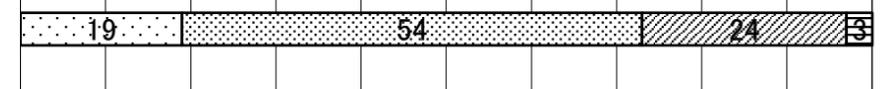
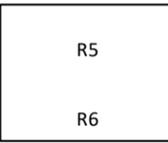
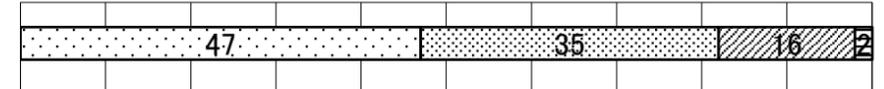
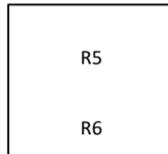
この項目も児童の肯定的な評価が増えています。今年度も3年生以上の算数を少人数で行ったり、支援員の配置で質問しやすかったりしたのではないかと考えています。また、今年度は、文章の中から必要な情報を確かに取り出すことに力を入れて指導してきました。さらにICT機器を有効的に活用し、子どもたちが「わかった！」と納得できるまで取り組み、「できた！」と実感できるような授業となるように教職員はさらに研究に努めていきたいと考えます。

4	(R6新質問) 学級の友だちと話し合う活動(学級会など)で自分の考えを深めたり広げたりしている。	児童
4	(R6新質問) 子どもは、友だちと話し合う活動(学級会など)で、友だちの考えを聞いたり自分の考えを伝えたりすることができていると言っている。	保護者



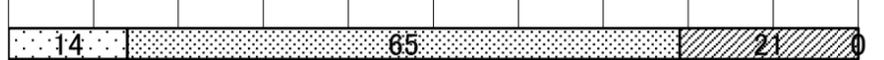
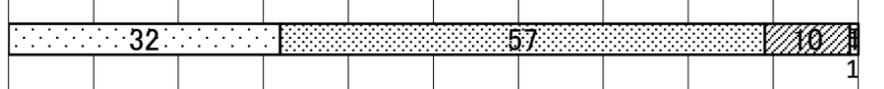
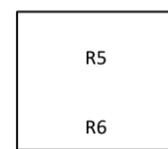
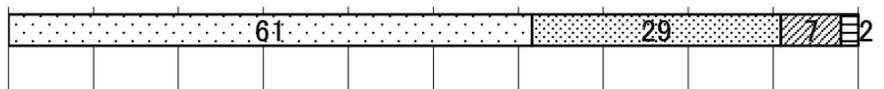
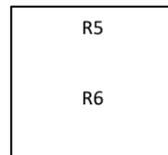
今年度からの新しい設問です。竜王小学校の子どもたちは学習課題に対して真面目に取り組めますが、受け身的なところがあり、「考えてみよう」「挑戦してみよう」という部分を苦手としている傾向があります。そこで今年度は「自分の思いや考えを表し、相手に伝える表現力を高める」という姿をめざして各学級で取り組んでいるところです。今回の自己評価では子どもたちや保護者の肯定的な評価が共に8割にとどまる結果となりました。さらに学級の友だちと話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできるよう取り組んでいきたいと考えます。

5	宿題や予習復習など家庭学習をがんばっている。	児童
5	子どもは宿題や自主学習など家庭学習をがんばっている。	保護者



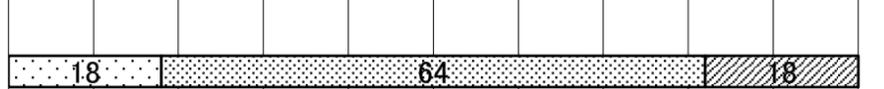
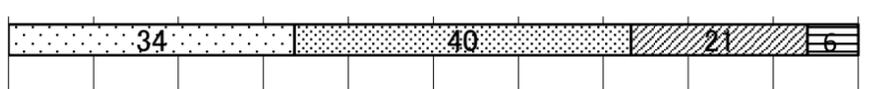
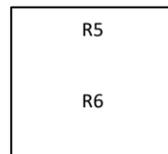
保護者の肯定的な評価割合は昨年度より増えています。本校の子どもたちのほとんどは決められた宿題を家できちんとすることができており子どもたち自身の強肯定評価も高い結果となっています。さらに、自分で計画を立てたり、予習や復習に取り組んだりする習慣を身につけていってほしいと思います。また、学習時間の長さだけでなく学習への取り組み方も大切です。今後も家庭学習がんばり週間やノートの使い方の指導を行ってまいりますのでご家庭でのご協力をお願いいたします。

6	竜王チャレンジタイム(竜チャレ)では目標をもってがんばっている。	児童
6	子どもは、竜王チャレンジタイム(音読・計算・漢字)の取組により、基礎学力が定着してきている。	保護者



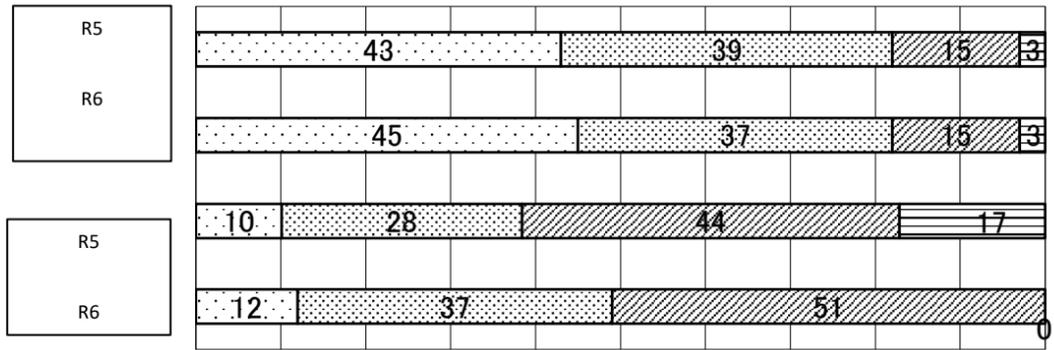
竜王チャレンジタイムは集中力を高め、基礎学力の定着を目指して取り組んでおり、漢字を多く覚えられるようになったり、集中して学習に取り組んだり、一人ひとりが自分の力を伸ばしています。取組開始より6年が過ぎ、すでに朝の当たり前の風景になっているところです。その様な中で児童評価、保護者評価共に肯定的な評価の割合が少なくなったことを受け、今後はさらに目標の設定や伸びを測定するなど意欲付けをしていくことが大切であると考えています。子どもたちが一人ひとり目標をもって取り組めるようになっていきたいと思いますので、ご家庭でも竜チャレの様子について聞いていただき、励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

7	学校では、タブレットを使って学習をしている。	児童
7	(R6新質問) 学校は、タブレットパソコンなどのICT機器を活用して学習をすすめている。	保護者



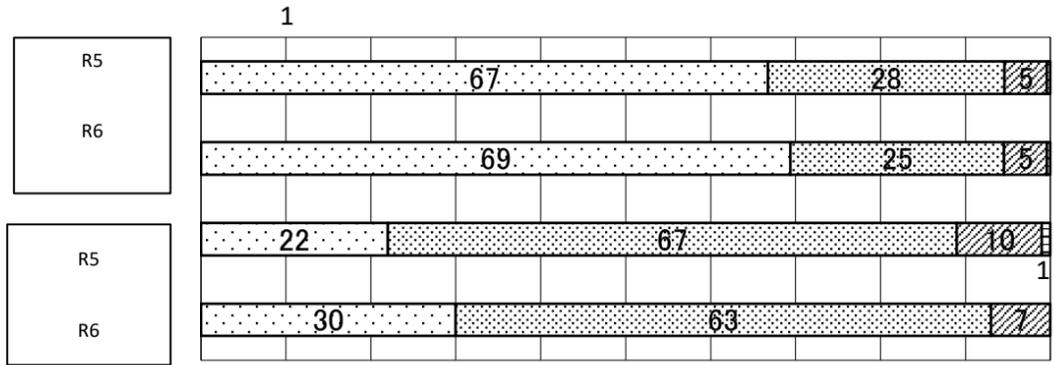
タブレットを使ってドリル学習に取り組んだり友だちとの意見交換に使用したり、インターネットを使って調べ学習をしたりしています。また、写真や動画を撮影し繰り返し再生したり、オンライン学習を行ったりと活用の幅を広げてきました。しかし、どのように学習に取り入れているのかわかりにくいということや宿題に使ってほしいといったご意見を保護者の方からいただきました。今年度、長期休暇中等にタブレットを使った宿題を出すなどしてまいりましたが、授業参観で見させていただく機会を持つなどしていききたいと思います。そして、より効果的な学習への活用をめざして、研修や研究を進めていきたいと考えています。

8	読み聞かせや朝読書の時間、休み時間、読書週間などで本に親しむことができる。	児童
8	子どもは、日頃から読書に親しんでいる。	保護者



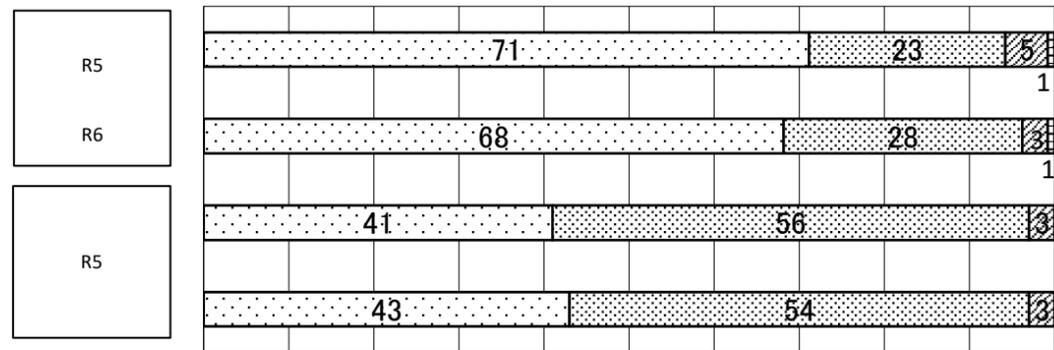
町立図書館から協力していただいている学期ごとの学級文庫の貸し出しや出前による貸し出し、ブックトークに来ていただいている成果が子どもたちの肯定的な評価に表れていると考えます。また全校で行った「クラスおすすめNo. 1本を決めよう」の取組や、休み時間はもちろん学習の合間にも読書ができるような環境づくりを進めております。今後も、読み聞かせのボランティアさんやファミリー読書など地域や家庭との連携を取りながら読書活動をさらに深めていきたいと考えています。

9	学習やクラブ活動などで地域の方々に教えてもらったり手伝ってもらったりすることは、うれしい。	児童
9	学校は保護者や地域、学校支援ボランティア、学校運営協議会の方々と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	保護者



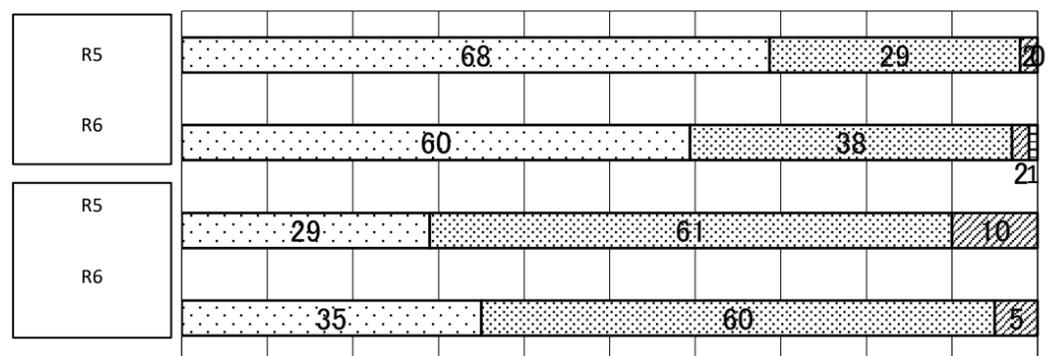
今年度も「コミュニティ・スクール竜王小学校」学校運営協議会や地域学校協働本部の皆様、学級園の耕作や植付け指導、読み聞かせ、ジョギング大会の安全補助等、多大な支援や協力をしていただいています。また、「はなまる先生」の取組も継続し、ドリルやプリント等の答え合わせをお願いしており、その分の時間を教員と児童の交流にあてています。今年度からはクラブ活動ボランティアとして子どもたちに関わっていただき、特色のあるクラブ活動にいただいているところです。今後も地域の様々な方々にお力添えをいただき、地域に開かれた教育課程の実現を目指しています。

10	学校で思いやりの大切さ、いじめは許せないことなどについて学んでいる。	児童
10	子どもは思いやりの大切さを理解し、いじめは許せないこととして行動している。	保護者



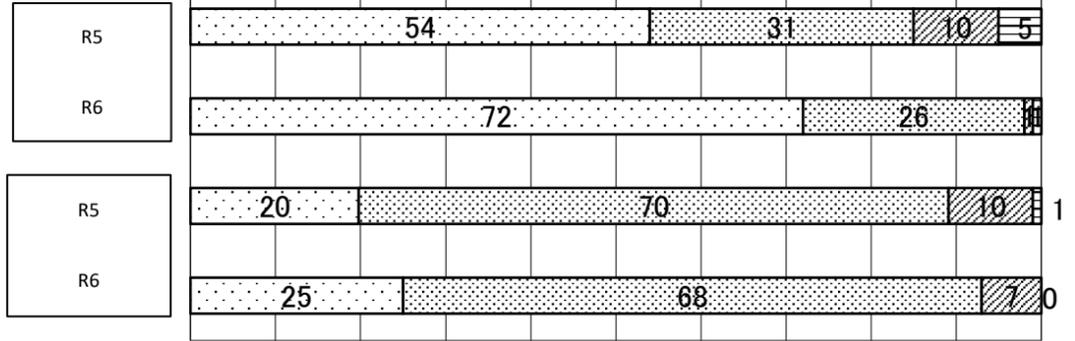
「心のアンケート」や、「人権を確かめ合う日」の啓発放送、各学級における道徳や学級活動の授業などを通して、いじめはどんなことがあってもいけないことだという心を育てる指導を行ってきました。特に今年度は、人権プロジェクトメンバーを募り、子どもたち自身で人権週間の取組について話し合う「竜王っ子会議」を行うなど、子どもたちを主体とした取り組みを行ってきました。しかしながら、児童の強肯定の割合が減っていることを重く受け止め、今後も集団づくりを核に据えた取組を継続しつつ集団を構成する一人ひとりの思いにもしっかり耳を傾けながら指導を進めていきます。また、同時に教職員の人権感覚を高めていくことや足並みをそろえた指導にも心がけていきます。

11	学校で決まりを守ることの大切さや正しい行動の仕方を学んでいる。	児童
11	子どもは決まりを守り、正しい行動をとろうとしている。	保護者



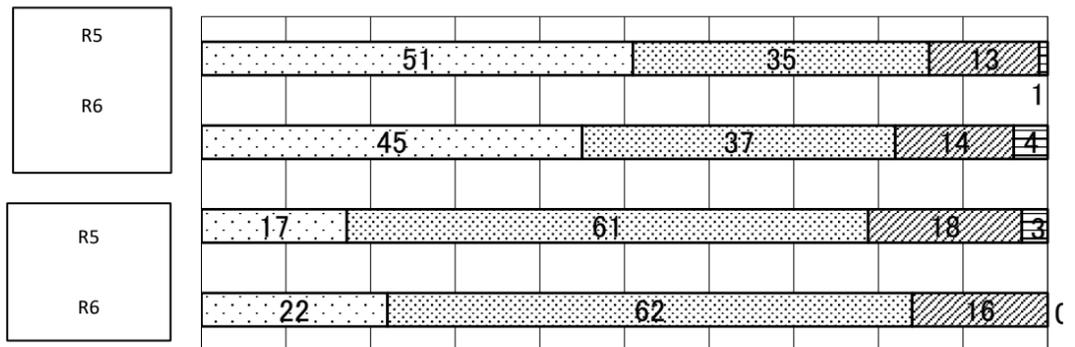
児童の肯定的な評価は9割を超えるなど、決まりを守ることや正しい行動をとることに対する意識の高さがうかがえます。学校でも道徳や学級活動などの時間や日常生活の中で指導していますが、それ以上に地域・家庭での日頃の教育力の高さを表れだと感じています。本当にありがとうございます。学校では今後も道徳の時間に心を耕し、規範意識を高め、特別活動等を通して行動力を培い、よりよい生き方を求める学校生活になるよう力を入れていきます。

12	学校で交通事故にあわないようにする方法や、災害、不審者などにどう対応したらよいかを学んでいる。	児童
12	学校は、交通事故にあわないようにする方法や、災害、不審者などにどう対応したらよいか等、子どもたちの安全安心のための指導ができています。	保護者



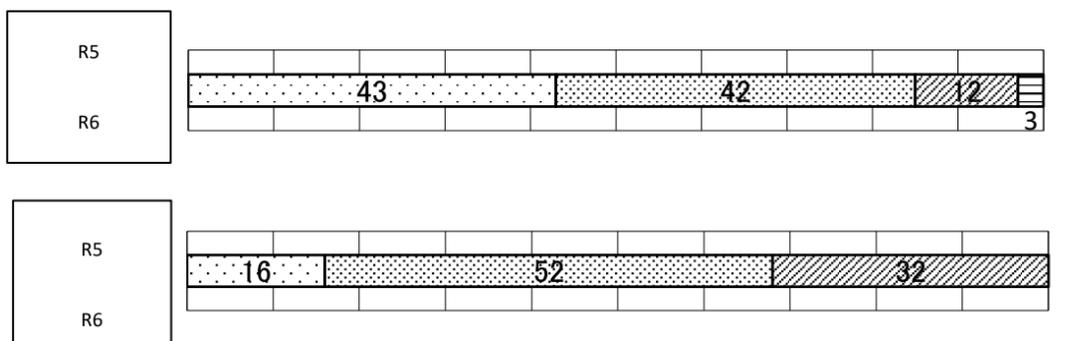
登下校については、保護者の皆様や字委員の皆様、スクールガードの皆様のご協力を得ながら様々な課題に対応しています。特に字委員の皆様が行ってくださった通学路点検を参考に、学校としましても町に危険個所の改善要望を出しており、順次、対応をいただいているところです。また、毎週水曜日の集団下校時は記録ファイルをもとにしながら、担当の教員と子どもたちが登下校について話し合う機会を設けています。火災、不審者、地震等に係る避難訓練についても継続して実施していき、引き続き、安心・安全や防犯には十分に注意を払っていきたいと思います。

13	相談ごとやなやみごとがあった時、学校で話を聞いてもらうことができる。	児童
13	毎月教育相談日が設けられているなど、お子さんのことについて学校と相談しやすい。	保護者



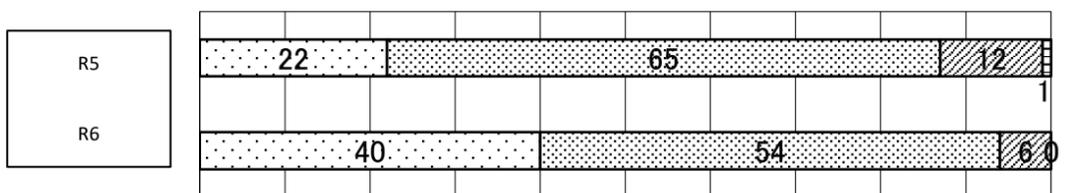
できる限り子どもとの向き合う時間を増やし、生活アンケートを実施したり、教育相談期間を設けたりして、一人ひとり子どもに耳を傾けてきました。しかしながら、児童の肯定的な評価が下がっています。このことを重く受け止め、子どもたちが日常的に教職員に話しかけやすい雰囲気づくりを重視し、さらに安心して過ごせる学級づくりを目指します。担任だけでなくすべての教職員がいろいろな立場から、子どもたちの話を聞き、一人ひとりの声に耳を傾けていくことが大切だと考えています。また、温かい見守りと適切な支援ができるように保護者の皆さまと良好な関係が築けるように教育相談体制の充実に一層取り組みます。保護者の皆様についても、月一回ではありますが、教育相談日を設定していますので、お気軽にご活用ください。

14	(R6新質問)保健室の先生などのお話やけんこう日記などのとりくみとおして、早寝早起き朝ごはんやスクリーンタイムなど自分の生活を見直すことができている。	児童
14	(R6新質問)けんこう日記などの取組を通して、早寝早起き朝ごはんやスクリーンタイムなど子どもの生活を一緒に見直すことができている。	保護者



子どもたちの肯定評価の割合と保護者の肯定評価の割合に差がある結果となりました。養護教諭の話やけんこう日記に取り組むことにより生活リズムに対する子どもたちの意識は高まってきています。しかし、けんこう日記の記録を見ると平日でもスクリーンタイムが3時間を超える子どもたちの割合が少なくありません。スクリーンタイムについて、時間を決めたり、時間を短くするよう学校でも指導、啓発を進めています。加えて、今年度もNTTドコモやKDDIの外部講師等による全学年を通したスマホやインターネットの危険性や正しい使い方について学習をしています。安全な使い方や情報リテラシー(マナー)を身につけるために、引き続きご家庭で話し合って適切なルールを決め、守れるようにしていただきたいと思います。

15	学校生活の様子や学習内容が、参観・懇談・通信・ホームページ・すぐるなどで知ることができる。	保護者
----	---	-----

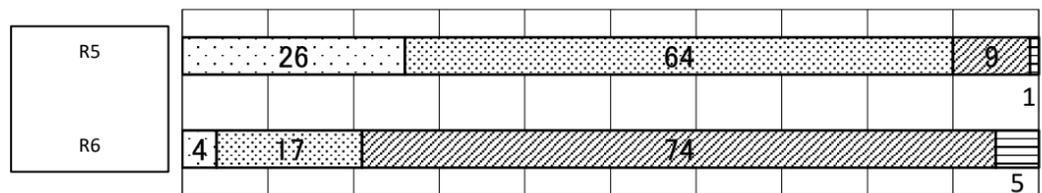


昨年よりも強肯定評価の割合が増えています。ホームページでは、「竜小日記」と題したブログを可能な限り更新し、子どもたちの様子をお伝えしてきました。今後も担任が出している各学年・学級の通信と合わせて、さらに学校の様子が保護者に伝わるように内容の充実をめざしてしていきたいと考えます。ホームページへアクセスへは、学校だよりのQRコードから読み取っていただくか、次のサイトからご覧ください。なお、「竜小日記」には、メニューバーからお入りください。

<https://ryuo-es.wixsite.com/ryuo-es>



16	子どもの学校生活を参観する機会 (学習参観・行事)の回数は適当である。	保護者
----	--	-----



【R5年度は、よくあてはまる・だいたいあてはまる・あまりあてはまらない・全くあてはまらないという選択肢から回答いただき、グラフでは左から順に表しています。R6年度は、多い・やや多い・適当・やや少ない・少ないという選択肢から回答いただきグラフでは左から順に表しています。】様々な学習の様子や学校の教育活動をご参観いただく機会を可能な限り持ってきました。お忙しい中とは思いますが、お子様の成長の様子を見ていただき、ご家庭で日ごろの学校での様子について親子で話し合う機会としていただければと思います。地域に開かれた学校作りを一層めざしていきたいと考えています。

保護者の皆様からは、たくさんのご意見や励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。お困りのことやご質問等があればお気軽に学校までご連絡いただき、ともに解決を図っていきたく考えています。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力についてよろしくお願い申しあげ、学校評価へのご協力についてのお礼とさせていただきます。